

ゲームの準備（セットアップ）

ここでは2~5人での基本ゲームの準備について説明します。それ以外の条件でのゲーム・バリエーションについては、P 13を参照してください。

1) ゲーム盤：ゲーム盤をテーブルの中央に配置してください。海洋タイル9枚を、海洋タイル置き場に積み重ねます。気温は「-30」℃、酸素濃度は「0」%と、それぞれマーカーとして白いキューブを開始位置に配置します。残る世代マーカーは、地球化指数（TR）表の「1」の欄に配置します。

2) 資源キューブと残ったタイルは、全員の手の届く場所にまとめておきます。

3) プロジェクトの山札：全プロジェクト・カードから、『企業時代』のカード（左下に赤丸内の白い三角のアイコン  のあるもの）を抜き出し、箱の中にしまえます。また企業カードも別にしておきます。残りのプロジェクト・カードをひとまとめにして裏のままシャッフルし、「プロジェクトの山」としてゲーム盤の脇に配置します。その隣に、捨て札置き場のスペースを確保しておいてください。

4) 各プレイヤーの備品：一番最近『テラフォーミング・マーズ』のゲームで勝利したプレイヤーは、親マーカーを受け取って「親」となります（該当者がいなければランダムに決定します）。各プレイヤーは1枚ずつプレイヤーボードを受け取り、5色の中から自分の担当色を1色ずつ選んで、対応する色のプレイヤー・マーカーを全部受け取ります。各資源の産出量の「1」の欄に、それぞれプレイヤー・マーカーを配置します（基本ゲームにおいてのみ）。また TR 表の開始位置（20）に、それぞれプレイヤー・マーカーを1個ずつ配置します。

5) カードの配布：まだ『テラフォーミング・マーズ』に慣れていないプレイヤーは、背景がクリーム色の〈初心者用の企業〉カードを受け取って手元に表向きで置きます。経験豊かなプレイヤーはその代わりに通常の企業カード10枚（『企業の時代』  の2枚は除外）をシャッフルして2枚ずつ受け取ります。

そして、全プレイヤーに10枚ずつランダムにプロジェクト・カードを配ります。

6) カードの選択：〈初心者用の企業〉を受け取ったプレイヤーはここですることはありません。経験者は、受け取った企業カード2枚のうち1枚を選んで、裏のまま各自の前に置きます。また配られた10枚のプロジェクト・カードのうち、手札として残りたいものを選んでおきます。次の手順で、残したいプロジェクト・カード1枚につき3M€を支払いますので、どのプロジェクト・カードを手札にするのか、よく吟味してください。

7) 開始時の状態：プレイ順に各プレイヤーは次のことを行います。

〈初心者用の企業〉を受け取ったプレイヤーの最初の手札は無料ですから、M€を支払わずに配られた10枚のプロジェクト・カー

ドをそのまま保持しておきます。また、開始時の資金として42M€を受け取ります。

経験者は6) で選んだ企業を公開し、そこで指定されているのなら追加の資源と産出量を獲得します。この際、その企業カードを「プレイ」したものとみなして、効果があればそれを解決します（右上にある**タグも有効です**）。そして、手札に残したいプロジェクト・カード1枚につき3M€を支払います。手札に残さないプロジェクト・カードは裏のまま捨て札とします（**ゲーム中も捨て札は常に裏のままです!**）。選ばなかった企業カードは裏のまま箱に戻します。

開始時から数世代、経済基盤を確立するまでは、使える資源量が極めて限られているので気を付けてください。

8) ゲームの開始：手番順フェイズと研究開発フェイズを飛ばして、最初の世代を開始します（準備の段階で、この2フェイズはすでに完了しています）。「親」のプレイヤーは、アクション・フェイズを開始してください。

企業によっては、最初に実行しなくてはならない「初手アクション」が決まっているので、その指示にしたがってください（たとえば〈インヴェントリクス〉や〈タルシス共和国〉など）。

例：キム、スタンリー、ロビンソンの3人が『テラフォーミング・マーズ』の基本ゲームをプレイします。各自プレイヤーボードを手元に置き、色を選んで、6つの産出表の「1」の欄に自分のプレイヤー・マーカーを配置します。「親」のプレイヤーであるキムは、各自にプロジェクト・カード10枚、企業カード2枚を配ります。各自どのプロジェクトを開始時の手札にするか、どの企業を使うか選択したら、手番順で公開していきます。

キムの企業は〈フォボログ〉で、チタン10個と23M€分の資源キューブを、自分のプレイヤーボードに配置しました。手札は5枚だけ保持することにして、15M€支払います。チタンを活かせるよう、高価な宇宙カードを中心に保持することになります。それから選ばなかった企業カードを箱にしまい、購入しなかった5枚のプロジェクトを裏のまま、プロジェクトの山の隣の、捨て札置き場に配置しました。

スタンリーの企業は〈ツールゲート〉で、電力産出量+1と48M€で、ゲームを開始します。手札は10枚全部保持することにして、30M€支払います。

ロビンソンの企業は〈タルシス共和国〉（前ページの図B参照）でした。40M€でゲームを開始し、4枚だけ手札を保持することにして12M€支払うと、残りは28M€になります。その最初のアクションとして、都市タイル1枚を配置することになります。おそらくは、配置した場所にある配置ボーナスも獲得できるでしょう。さらに企業カードには「火星に都市タイルが置かれるたびM€産出量+1。自分で都市タイルを配置するたび3M€獲得」とあり、それも獲得できます。

ここから最初の世代が始まり、キムが最初のアクション・フェイズを実行します……